

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点					主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							国語への関心 意欲・態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能		
①	1	(1)		話すこと・聞くこと 5・6年	イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと	木村さんは、どんな目的でインタビューをしていたかを聞き取ること。		○				○	
②		(2)		話すこと・聞くこと 5・6年	イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと	竹田さんのインタビューに対する答えを聞き取ること。		○				○	
③		(3)		話すこと・聞くこと 5・6年	イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと	木村さんが、インタビューの仕方です工夫していることを考えながら聞き取ること。		○					○
④		(4)		話すこと・聞くこと 5・6年	ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと	竹田さんの話の内容を受けて、さらに詳しく聞くために質問すること。		○					○
⑤				言語事項 5・6年	カ-(イ) 必要に応じて共通語で話すこと	目上の方に対しての質問であることを考え、適切な言葉遣いで話すこと。					○	○	
⑥				話すこと・聞くこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	竹田さんの話を詳しく聞くために質問しようとする事。	○						○
⑦	2	(1)	①	言語事項 5年	「と（む）」と読むこと	5年配当の漢字「富」を、訓読みで「と（む）」と正しく読むこと。					○	○	
⑧			②	言語事項 3・5年	「じったい」と読むこと	3年配当の漢字「実」と5年配当の「態」を組み合わせた熟語「実態」を、「じったい」と正しく読むこと。					○	○	
⑨			③	言語事項 4・5年	「せいけつ」と読むこと	4年配当の漢字「清」と5年配当の漢字「潔」を組み合わせた熟語「清潔」を、「せいけつ」と正しく読むこと。					○	○	
⑩			④	言語事項 5年	「いきお（い）」と読むこと	5年配当の漢字「勢」を、訓読みで「いきお（い）」と正しく読むこと。					○	○	
⑪			⑤	言語事項 5年	「まね（く）」と読むこと	5年配当の漢字「招」を、訓読みで「まね（く）」と正しく読むこと。					○	○	
⑫		(2)	①	言語事項 5年	「保護」と書くこと	5年配当の漢字「保」と「護」を組み合わせた熟語「保護」を、正しく書くこと。					○	○	
⑬			②	言語事項 5年	「確（かめる）」と書くこと	日常生活でよく使う5年配当の漢字「確（かめる）」を、文字の形に気を付けて正しく書くこと。					○	○	
⑭			③	言語事項 5年	「貿易」と書くこと	5年配当の漢字「貿」と「易」を組み合わせた熟語「貿易」を、正しく書くこと。					○	○	
⑮			④	言語事項 5年	「築（く）」と書くこと	5年配当の漢字「築（く）」を、文字の形に気を付けて正しく書くこと。					○	○	
⑯			⑤	言語事項 3・5年	「逆転」と書くこと	5年配当の漢字「逆」と3年配当の漢字「転」を組み合わせた熟語「逆転」を、正しく書くこと。					○	○	

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点					主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							国語への関心 意欲・態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能		
⑰		(3)		言語事項 5・6年	(1)ア-(イ) 漢字の特質について理解すること	文脈に沿って表意文字としての漢字を適切に使うこと。					○	○	
⑱				言語事項 5・6年	(1)ア-(イ) 漢字の特質について理解すること	文脈に沿って表意文字としての漢字を適切に使うこと。					○	○	
⑲		(4)		言語事項 5・6年	(1)ウ-(イ) 語句の構成に関心をもちこと	漢字二字を組み合わせて、「流星」の熟語を作ること。					○	○	
⑳				言語事項 5・6年	(2)ア-(ウ) 毛筆を利用して、字配りよく書くこと	「実りの秋」の紙面に合った字配りを考え、文字の中心線に気を付けて書くこと。					○	○	
㉑	3	(1)		読むこと 5・6年	イ 文章の内容を的確に読むこと	一が樹に登って見たもの、初めて気が付いたことを読み取ること。				○		○	
㉒		(2)		読むこと 5・6年	ウ 登場人物の心情を優れた叙述を味わいながら読むこと	恵介がからかわれているのを見て、やめさせた一の行動について、恵介が思ったこととそのときの一の気持ちのちがいを読み取ること。				○		○	
㉓		(3)		読むこと 5・6年	イ 文章の内容を的確に読むこと	一が恵介の言葉のまねを繰り返したときの心情を読み取ること。				○		○	
㉔		(4)		読むこと 5・6年	ウ 登場人物の心情を優れた叙述を味わいながら読むこと	自分が少し大きくなったような気がしたという一の心情を読み取ること。				○			○
㉕		(5)		読むこと 5・6年	ウ 場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと	情景描写や比喻、言葉の組み合わせなど表現の工夫や心に残った表現について、鑑賞しながら読むこと。				○			○
㉖				読むこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	会話の流れを受けて、自分の思いや考えを述べようとする	○						○
㉗	4	(1)		書くこと 5・6年	オ 表現の効果などについて工夫すること	書かれた文章の改善できる部分について、よりよいものにしていくこと。			○			○	
㉘		(2)		書くこと 5・6年	ア 意図を明確にして書くこと	資料から分かる内容を見出しとして書くこと。			○				○
㉙				書くこと 5・6年	エ 事象と意見などを区別して書くこと	資料から分かる事象を書くとともに、その事象に裏付けられた地産地消のよさを伝える文章を書くこと。			○				○
㉚				言語事項 5・6年	(1)イ-(ア) 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと	正しい表記で書くこと。					○	○	
㉛				書くこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	地産地消のよさを知ってもらう文章を書こうとすること。	○						○